

平成24年度 伊豆市立月ヶ瀬小学校グランドデザイン



本校の教育課題

- ★ 小規模校でお互いを知りつくし、切磋琢磨する構えが弱い。
- ★ 積極的に発言しようとする意欲が低く、表現力がやや貧しい。
- ★ 言われたことはできるが、応用することに難を示す。
- ★ 明治5年の開校以来141年間の最後の年として、閉校を迎える。

学校外との連携・協力

- 月小PTA
- 学校ボランティア
 - ・読み聞かせ
 - ・クラブ活動支援
 - ・総合学習支援
 - ・各教科に関する支援
- 学校関係者評価委員会
- 地域住民の行事参加
- 地域老人会等
- 奈良市立月ヶ瀬小学校
- 月ヶ瀬小閉校準備委員会

連携・協力

目指す子どもの姿

- 自分の思いや考えや希望を自分の言葉で積極的に表現できる子
- 月ヶ瀬小に感謝の気持ちを表す子

目指す学校の姿

- 厳しさの中に楽しさのある学校
(イノベーションを目指して)
- 一人一人の子どもを見取れる学校
- 夢をおえる学校

有徳の人づくりアクションプラン

- (1) 徳のある人間性の育成
- (2) 健やかでたくましい心身の育成
- (3) 「確かな学力の育成」
- (4) キャリア教育の推進

伊豆市の学校教育の重点

- (1) 確かな学力の定着を図る授業の推進
- (2) 豊かな心を育てる教育
- (3) 特色ある教育活動の推進
- (4) 開かれた学校づくりの推進
- (5) 「信頼される教員集団」「活力ある教員集団」の育成

校訓
勤儉・規律・親切

学校教育目標

明日(あした)に希望を持ち、今日を頑張る子の育成

平成24年度 重点目標

聴き合い、考え合い、伝え合う

実践

評価

ありがとう月ヶ瀬小

ともに創ろう天城小

学校経営目標

丁寧な教えてじっくり考えさせる授業を実践する

他者とのかわりの中で自尊心を高める生徒指導を推進する

家庭・地域とともに子どもを育む学校体制を確立させる

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」(井上靖)⇒「希望を語り合う職員室を目指して」

授業づくり部

- 目標を明確にした単元構想と考えさせどころ(話し合わせどころ)を設定したじっくり考える場のある授業改善
 - ・自分の考えを書く活動の重視
 - ・単元構想発表と公開授業
 - ・「子どもがつなぐ」「子どもをつなぐ」「考え合い・伝え合う」授業の追究
- 表現力を高める言語活動の充実
 - ・「聴き合う」「話し合う」授業の中での具体的な指導の徹底
 - ・音読練習と月一度の音読集会
 - ・読書活動の充実
- 基礎学力の確実な定着
 - ・少人数を生かした形成的評価と支援
 - ・はげみ学習(漢字・計算)の充実
 - ・家庭と連携した家庭学習の徹底
 - ・ノート指導の充実
 - ・個別指導の場と機会を生み出す日課、時間割の工夫

生活づくり部

- 充実した学校生活の基盤づくり
 - ・生活目標を通しての具体的な指導
 - ・年間を通してのあいさつの奨励
 - ・学習習慣づくり
 - ・体力づくり
- 人間関係を高めあう言語活動
 - ・場に応じた挨拶の実践
 - ・他者の良さを認める言葉かけの励行
 - ・他の模範となる言動の表彰
「あすなる賞」
- 開かれた生徒指導体制づくり
 - ・学年、学校便りを活用しての情報発信
 - ・地域の教育力の要請(人間関係を体験する場の設定)
 - ・家庭地域とともに子どもをはぐくむ教育活動の推進

仲間づくり部

- 学年団や縦割り活動の充実(豊かなかわりあい)
 - ・自己有用感・集団への所属意識を味わわせつつ高学年を学校のリーダーに育てる(全職員で指導)
 - ・児童会活動を生かした指導話し合い活動を学年団集会にも位置づけ、「話す・聴く」の指導の場として活用する
 - ・人権感覚を磨き、互いに高め合う
 - ・代表委員会を活性化させ、児童の自治意識を醸成する
- キャリア教育の推進
 - ・新学習指導要領の主旨を生かした自校ならではの教育活動の推進
 - ・総合的な学習の時間・体験活動の充実、問題解決的学習の推進
- 閉校に向けた行事の工夫
 - ・月ヶ瀬小への感謝の心を育てる